

# 昭和男唄

作詩:さわだすずこ/作曲:弦 哲也/編曲:竜崎孝路

山崎ていじ

口は重いし 愛想も無いし

思いどおりの 言葉さえ

見つけることも 出来ない俺さ

こんな自分に 苦(にが)笑い

素直になれず 悔やんでいるよ

やだね やだね なぜかつつばる

昭和生まれの 男唄

出会った時には 惚(ほ)れてもいたさ

それでも何故(なぜ)だか 午前様

明日は呑まぬと 決めてはいても

夜が誘って はしご酒

分かっているさ お前の涙

呑んで 呑んで 呑んで寂(さび)しい

昭和生まれの 男唄

今日こそほめて やれたらいいと

言葉探して いるうちに

季節はめぐって 言えないままに

お前 はるかな 雲の上

ありがとうだけ 言わせてくれよ

バカな バカな バカな涙は

昭和生まれの 男唄

# 帰っておいで

作詩:さわだすずこ/作曲:弦 哲也/編曲:竜崎孝路

山崎ていじ

茜空(あかねぞら) ぼんやり見上げ

会えなくなった お前を想う

大事に 大事に 育てた子でも

ある日 ボタンの 掛け違い

傷口に塩を塗るような 言葉を吐いて

さぞかし悔(く)やんで いるだろう

寂しくなったら 帰っておいで

この頃すっかり 忘れっぽくて

母ちゃん 何にも 覚えてないよ

軒下の 洗濯物が

雨に降られて 雫(しずく)が落ちた

今頃どうして いるんだろうか

涙堪(こら)えて 生きてるか

元気かと 突然かけてた お前の電話

無理して明るく おどけてた

会いたくなったら 帰っておいで

タロウの犬小屋 壊れたままで

母ちゃん 一人で 困っているよ

会いたくなったら 帰っておいで

庭のほおずき 赤い実ついて

泣いてる ようだよ ただ逢いたくて